

・

天体を雲や霞、それに花粉や黄砂などが遮蔽すると、その天体の周囲に光の環「光環」が現れることがあります。たとえば、以下のようなものが知られています。

- ・ 太陽に巻層雲がかかる・・・「日暈（にちうん）／日の暈（ひのかさ）」
- ・ 月に巻層雲がかかる・・・「月暈（げつうん）／月の暈（つきのかさ）」
- ・ 太陽に高層雲や高積雲がかかる・・・「日光環（にっこうかん）」
- ・ 太陽に高層雲や高積雲がかかる・・・「日光環（にっこうかん）」
- ・ 月に高層雲や高積雲がかかる・・・「月光環（げっこうかん）」
- ・ 太陽にスギ花粉がかかる・・・「花粉光環」
- ・ 太陽に黄砂がかかる・・・「黄砂光環」

惑星や恒星で光環が現れることはあまりありませんが、火星やシリウスのように明るい天体の場合、稀に光環が見られます。写真がその例で、シリウスの「手前」を薄い雲（恐らく高層雲）が通過し、月光環のような色のついた環が出現しました。シリウスに近いほど青、遠いほど赤く見えます。さすが全天一の輝星です。もし巻層雲が通過すれば、「ベン・ハー」の冒頭（キリストの誕生シーン）のように、シリウスに「白い環」が出現するかも知れません。

（2025 年 12 月中旬／北軽井沢／東京から遠隔観測）

